

業務委員会をかたくなに拒む会社

「毎日シーツ交換やってやったのに文句ある?」とでも言わんばかりの会社の対応

シーツ交換について申し入れ

JR東海労名古屋地本は、今月から予定されている宿泊所のシーツ交換について「JR東海労申7号」を申し入れしました。

*シーツ交換について、「毎日交換」と「本人が交換」することが各職場に掲示されています。しかし、取扱いについて不明な点が多く問題点も多くあります。

収束のきざしが見えない新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症は依然として収束のきざしが見えていません。私たちは感染の危険にさらされながら日々業務を遂行しています。最近では職場で罹患者も発生しています。そういった状況で職場の環境整備は急務です。

そのための「毎日シーツ交換」なのです。安全と社員の健康を守るために必要です、だからと言って睡眠時間を削ってよいものではありません。ましてや不慣れな作業を短い睡眠時間の前にやらされてはたまったものではありません。

問題は多くある

このように問題点は多くあります、安心して業務を行うため問題点を話し合うのは絶対必要です。会社は業務委員会を開催することなく、一方的に実施しようとしています。

会社は開催しない理由を「知らせた以上の回答がすべて」といいきって業務委員会を開催しないとしています。会社の不誠実な対応に断固抗議し業務委員会の開催を強く要求します。

J R東海労名古屋地本申第7号

1. シーツ交換は社員の交換でなく、現行の協力会社による交換とすること。
2. 睡眠時間について、特に乗務員の睡眠時間確保について会社の考えを明らかにすること。
3. シーツ交換時間の取扱いについて明らかにすること。

会社は不明な点・問題点を解決すべきだ!